

西神門 大神楽 千代鈴

3横綱ら1敗で並ぶ

紙相撲新聞

第166回本場所
四～五日目号

編集・発行
日本紙相撲協会

ここまで全勝の大神楽も五目目に土 西神門、千代鈴、鬼ヶ嶽らと1敗で並ぶ

【第百六十六回本場所四日目～五日目】
秋らしい陽気となってきた10月1日に四日目五日目が開催され、五目目を終えて全勝がいなくなり、西神門、大神楽、千代鈴の3横綱、関脇鬼ヶ嶽をはじめ7人が1敗で優勝争いの先頭に立った。

三日目を終えた時点で、横綱大神楽、関脇鬼ヶ嶽、前頭十三枚目烏帽子岳の3人が3連勝という状況からの四日目は、大神楽は小結英筏を寄り切り下し、鬼ヶ嶽は西勢之里を引き落とし、烏帽子岳は若巨を寄り切った。3人とも白星を上げて4連勝と星を伸ばした。



↑五日目、袂を別けた1場所兄弟子の西勢里との因縁の対決は出足で圧倒して押し倒し、3連勝で1敗堅守。



↑四日目、今場所復調した大神楽は一気の寄りで英筏を粉砕。初日から4連勝と絶好調ぶりをアピール。



↑五日目、合口の良い夢ノ花相手に予想通りの取り口で二日目から4連勝。休場明けを感じさせない内容だ。

も三役以上でまだ片目
開たか小結英筏とな
つたのは小結英筏とな
し、場所は小結英筏とな
を！含むには横綱との対戦
を！含むには横綱との対戦
し、場所は小結英筏とな
つたのは小結英筏とな



佐賀海○(寄り切り)●鬼ヶ嶽



綱乃花●(寄り切り)○千代鈴



大神楽●(押し倒し)○綱乃花

先場所全休し、初日に剛勇山に敗れて黒星スタ
ートとなった横綱千代鈴は降
が、二日目以降は本来の相撲と
はいかないまでも白星を積み重ねて四
ねている。四日

しかし五日目、対戦成績も5勝4敗と拮抗している小結綱乃花の思い切ったのど輪に苦杯を舐め、「なんだよお！」と思わぬ結末に磯ノ海親方は嘆きの声を発した。



西勢里●(引き落とし)○鬼ヶ嶽



剛勇山○(押し倒し)●春ノ翔

「強い！」と周囲を唸らせた。先場所、途中休場して今場所の調子が心配された横綱大神楽は場所前の調子が上手くいったが、左を差してから勝負が早く「今場所は良さそうだ！」と師匠の磯ノ海親方を安心させた。

目には小結綱乃花を大相撲の末、寄り切りを下し、五目目の夢ノ花には取り直しの相撲で勝つなど、不安要素はあるものの徐々に調子を上げていくことを期待したい。

横綱春ノ翔も2敗はしたものの、三日目の西勢之里、四日目の剛勇山とこれまでの対戦成績で合点の悪化に陥った相手は出足から相撲自体は出足もあって、相撲内容は悪くないだけに、まだ十分に優勝の可能性を残していると思われる。



西勢里●(引き落とし)○鬼ヶ嶽



剛勇山○(押し倒し)●春ノ翔